

総務委員会資料

所管事務の調査（報告）

○川崎競輪場再整備の状況について

資 料 1 川崎競輪場再整備の状況について

経 済 労 働 局

平成30年11月8日



1 競輪場再整備の方針

■富士見周辺地区整備基本計画（平成20年3月）

- 富士見周辺地区の整備目標
「総合的・一体的な整備を行い、「都心における総合公園にふさわしい富士見公園の再生」と「スポーツ・文化・レクリエーション活動の拠点機能の強化」をめざす。」
- 競輪場整備の方向
「公園との調和に配慮した上で、既存バンクを活用し現位置でコンパクト化するとともに、できる限り多目的な活用をめざす。」

■富士見周辺地区整備基本計画に基づく整備の考え方(平成22年3月)

- 富士見公園の再生に向けた基本方向
「都心における総合公園にふさわしい富士見公園の再生のため、公園内に立地する老朽化した施設の再編にあわせて、公園の本来機能である緑地や広場の確保に努め、魅力ある緑のオープンスペースを創出し総合公園としての機能回復を図ります。」
- 競輪場整備の方向
「持続的な事業運営・財源確保等を総合的に判断し、競輪施設等整備事業基金を財源として、既存バンクを活用しながら、コンパクト化の整備を段階的に進めていく。」

■川崎競輪場再整備基本計画(平成22年9月)

- メインコンセプト
○公園との一体感を感じられる空間づくり
○持続可能な事業運営の確立に向けた施設づくり
- 主な取組み
○競輪場のコンパクト化、公園との調和
○市民開放・市民利用の促進
○耐震化の実施、分散施設の集約化

2 スケジュール

平成24～27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
○西スタンド建築 ① ○屋外ステージ建築 ② ○選手管理棟建築 ③ ○メインスタンド耐震化 ○中央門棟耐震化	コンパクト化関連整備 ○東側エリア施設解体撤去 ○西側エリア施設解体撤去 ○メインスタンド(3階を除く)内装改修	○新入場門棟建築 ④ ○外構整備(フェンス、管理用駐車場等) ⑤	○バンク内広場整備	○メインスタンド3階内装改修	○バックスタンド改修 ○自転車ケース置場建築	○東サイドスタンド解体撤去	○構内舗装整備	○東入場門建築 ○東側駐輪場整備

3 施設整備状況

④新入場門棟完成 H30.9

①西スタンド完成 H26.3

②屋外ステージ完成 H26.3

③選手管理棟完成 H26.3

メインスタンド H25～改修中

H25～H27 耐震補強工事
H27～H28 1・2・5・6階内装改修工事
H28 2・4階内装改修工事
H31 3階内装改修工事(予定)

⑤新・旧フェンスの外観 H30.9

凡例

- ・・・ 建築・改修完了施設
- ・・・ 建築・改修予定施設
- ・・・ 敷地境界(コンパクト化後)
- ・・・ 敷地境界(コンパクト化前)
- ・・・ 公園への返還敷地(約7,500㎡)

○再整備の大きなポイントの1つである競輪場のコンパクト化工事が平成30年9月に完了。
○コンパクト化工事の結果、競輪場面積は約46,300㎡から、約38,800㎡に縮小。
○コンパクト化により生じた約7,500㎡について、諸手続きを経て10月24日に都市公園区域に編入。

4 競輪場の土地使用手続きについて

○競輪事業は、昭和24年の競輪場開設以来、一般会計所管の「富士見公園」の土地を使用して行ってきた。
○競輪場コンパクト化及び一部敷地の公園への返還を契機に、競輪場の敷地について、一般会計から競輪事業特別会計への管理換え手続きを行った。